

平成29年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

シートNo.1

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。  
◆館の重点評価項目は、西川図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名：西川図書館

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
課題解決型図書館	◆全館共通評価項目 課題解決のためのレファレンスサービスの充実	・市民に身近な課題解決のためレファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・レファレンス件数は9,808件で前年度比18.3%増加。 ・レファレンスサービスの充実のため、中央図書館が実施したレファレンス研修に参加した。	・件数の増加は、サービスのPRと窓口で声をかけやすい環境づくりに努めたためと考える。 ・研修はH28年度と同様に集合研修でなく、職場にいながら参加できる課題形式のものだった。ほとんどの職員が参加が出来て職員全体のスキルアップにつながった。	3 大変評価する。 7人 78% 2 ある程度評価する。 2人 22% 1 評価できない。	・レファレンスを広く利用してもらえよう。今後もPR、声かけ等を期待している。 ・職員によってレファレンスの結果に差があるように思う。 ・学校に必要な本がない時に、図書館に在庫があり助かった。 ・研修にほとんどの職員が参加ができていてよい。
	◆館の重点評価項目 レファレンスサービスの周知	・誰でも気軽にレファレンスを依頼できるように、サービス内容を広報する。	・サービスのPRのため平成29年9月発行の「西蒲図書館だより」から毎号「レファレンス事例紹介」のコーナーを設けた。また平成29年11月5日号「にしかん区だより」の図書館特集でもレファレンスについてPRを行った。	・広報を継続して行った効果が、レファレンス件数に表れてきている。今後も機会を捉えて効果的な広報を行う。	3 大変評価する。 7人 78% 2 ある程度評価する。 2人 22% 1 評価できない。	・市民への周知やPRを今後も継続してほしい。 ・レファレンスのPRがわかりやすくよかった。具体的な事例をのせる事で多くの人に理解してもらえたと思う。 ・事例紹介は実にいいPRだと思う。大いに評価できる。 ・広報活動により、レファレンスサービスも定着してきたのではないかな。
特色ある地域づくり図書館	◆全館共通評価項目 地域資料の体系的な収集と活用	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。	・西川図書館で地域の郷土史研究をしているグループと共催で「西蒲・曽根郷ゆかりの文人展」を実施。また巻図書館では、ボランティアグループと共催で「本の森講座」を実施。いずれも関連資料の展示を行った。	・地域にゆかりのある文人の作品の展示や講演会を行うことで、地域の文化や自然、歴史を学ぶ機会を提供することができた。	3 大変評価する。 8人 89% 2 ある程度評価する。 1人 11% 1 評価できない。	・地域の公共図書館にふさわしい活動だと思う。市民ニーズや意向を汲み上げ、今後も取り組んでほしいと期待している。 ・常に目に入りやすい場所に地域資料が展示してあった。 ・郷土史研究または文化サークル、その他地域のグループとの共催をどんどん進めてほしい。
	◆館の重点評価項目 地域資料の積極的な収集と活用	・図書館が各地域の資料の収集に力を入れていることを周知し、活用を促進する。	・郷土・行政資料の蔵書冊数は15,058冊で前年度比3.8%増加。	・地域に関する資料を積極的に収集し、各館で前年度から新設した地域資料コーナーの充実に努めた。	3 大変評価する。 2人 22% 2 ある程度評価する。 7人 78% 1 評価できない。	
子ども・社会・読書活動型図書館	◆全館共通評価項目 子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業を継続するとともに、赤ちゃんタイムを全館に拡大し、うちどく(家読)を推進する。	・西蒲区ではブックスタートを329人に実施。(対象者数339人、実施率96.5%) ・赤ちゃんタイムは、西蒲区4館で実施。 ・西川図書館、潟東図書館で小・中学校と連携し「夏休みうちどくシート」の取り組みを行った。	・ブックスタートは、ボランティアと区健康福祉課と協力し、円滑に実施することができた。また、対象者に対して高い実施率を維持できている。 ・「夏休みうちどくシート」は西川、潟東地域の小中学生から参加してもらい、秋の読書週間に作成したシートを図書館で展示した。展示期間中は、シートを見るための親子連れで来館する様子が見られた。	3 大変評価する。 8人 89% 2 ある程度評価する。 1人 11% 1 評価できない。	・「夏休みうちどくシート」を西蒲区の小全小中学校で実施していただきたい。 ・ブックスタートボランティアとして参加しているが、私自身楽しみにしている。 ・子どもたちが図書館に通う1つのきっかけになる活動だと思う。
	◆館の重点評価項目 区内で活動する読み聞かせボランティアの養成	・読み聞かせボランティア養成講座を開催し、西蒲区の子どもの読書環境を整備する。	・「絵本の読み聞かせボランティア養成講座」を開催。(参加者6名)	・講座後に区内の読み聞かせボランティアグループから活動紹介をしていただいた。参加者の中から、その後のグループの勉強会に参加した方やグループに登録した方もおり、人数は少ないが活動につながることができた。	3 大変評価する。 2人 22% 2 ある程度評価する。 7人 78% 1 評価できない。	・子どもの本離れをなんとか食い止めたい、学校としても協力したい。 ・読み聞かせボランティアのメンバーが減少してきている。講座を受けた方は、できるだけ登録をしていただけたらと思う。 ・「人数が少ない」が気になる。以前の講座では、受講後に必ずボランティアグループに加入することが約束だった。今は無理なのか。
市民参画と協働型図書館	◆全館共通評価項目 ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・ボランティア・教育機関や民間団体等と一緒に事業を行い、市民との協働を推進する。	・図書館ボランティア活動数は943人で前年度比7.7%減少。 ・共催・協働事業の実施件数は19件。	・西蒲区の活動数の減少は、西川図書館の配架書架整理ボランティアの活動数が減少した影響。その他の活動数は概ね前年度と同程度。配架書架整理ボランティアについては、今後は積極的に広報を行い参加者を増やしていきたい。	3 大変評価する。 2人 22% 2 ある程度評価する。 7人 78% 1 評価できない。	・積極的な広報が必要だと思う。 ・ボランティアへの呼びかけは大いにやっけてほしい。仲間が仲間を呼ぶようにしたらよい。
	◆館の重点評価項目 ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・各館において地域のボランティアや民間団体等と一緒に事業を行うなど、市民との協働を推進する。	・西川図書館で民間団体と「西川サマーコンサート」を共催。巻図書館では地域のボランティアと「本の森語りのタペ」などを共催。その他には、潟東図書館の「クリスマス会」、岩室図書館の「20周年記念事業 ハーモニカと絵本の世界」などをボランティアと協力して実施した。	・西蒲区全ての館で地域のボランティアや民間団体と協働し事業を行うことができた。今後も協働を継続できるよう努める。	3 大変評価する。 7人 78% 2 ある程度評価する。 2人 22% 1 評価できない。	・民間団体との協働は今後大切。 ・読み聞かせだけでは人が集まらないというのは、少し残念な気もする。図書館運営には職員のアイディアや企画力が必要な時期になっているのかもしれない。